

1	審議会名	第6回 塩田地域協議会 自治会連合会・振興会・地域協議会懇談会
2	日 時	平成23年9月15日 午後1時30分から午後5時07分まで
3	会 場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、小林委員、清水委員、関田委員、竹下委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、丸山委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、各地区自治会連合会正副会長7名、各地区振興会正副会長4名
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、海瀬地域振興政策幹、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年9月22日

協 議 事 項 等

1 開 会（神林自治センター長）

2 地域協議会長あいさつ

夏を思い起こさせるような気候であるが、塩田地域は大豊作と聞いている。当地域協議会の活動も軌道に乗ってきており、一步踏み込んだ意見交換としたい。本日は、3団体の方々と地域の将来のことにについて協議して行きたい。

3 協議会

(1) 上田市表彰審査委員の推薦について

上田市秘書課から「上田市表彰審査委員」の推薦について要請があった。市全体で新人が5名、経験者については継続を希望している。

協議の結果大口会長を継続委員として推薦することに決定した。

(2) 地域の課題について

（委員） 別所線電車存続については、自分も同じ考えであるが他人事としている意見が多く、住民の理解を深めるための方策が必要である。住民負担についても再度検討する必要がある、バスは効率の良い路線にすべきだが、黒字経営は厳しいので行政支援が必要である。（オレンジバスの無料化は反対）「困りごと」については、選出団体では議論したことがない農業の担い手不足に対して検討したい。

（委員） 別所線電車については、地域の足として助かっており大切な思いもあるので、負担金もやむを得ないと思っている。バス停の位置については検討する余地があると思う。地域の声として、塩田の特産物があればいいと思う。

（委員） 別所線電車の存続については、「基金」の考え方もあるのかと思った。バス路線の維持については、高齢者も応分の負担が必要に思う。若い農業後継者が少ないが、福祉は行き届いていると思う。

（委員） 別所線電車の存続については、住民への説明会を開催してバスの運行との連絡をよくすることが必要である。

（委員） 別所線電車の存続については、会社と個人双方に問題があると思う。中央公民館を利用しているが、上田駅から中央公民館までのバスがなく家からの移動手段を考えるべきである。

（委員） 電車の意義について認識することが必要である。イベントは必要であるが駅に人が集まるような空間を作ることだろうか。年間バスを使い区間限定で乗れるとよいと思う。乗らないで済む人に関係を持ってもらうようにしたい。大湯など小さな地域での活性化をどうするかが課題である。

（委員） 電車やバスについては一体的に考えるものである。電車バスの利用促進協議会を作るべきでありその中で検討してもらいたい。別所線電車存続期成同盟会の運動が弱く、人任せの意

見など低い住民意識の改革が課題であり、利用促進協議会づくりの拙速は避けるべきである。

(委員) 別所線電車存続については、住民意識が低くあきらめムードがあり「乗る」意識への底上げが必要である。会社においては、自転車も乗せられるように住民意見を取り入れてもらいたい。バス路線については、自治会ごとにバス停が1箇所は欲しい。誰がどういう交通機関を利用しているか調査する必要がある。栄村の「げたばきヘルパー」的なものが必要に思う。電車の利用にあたっては、駅から集落までの街灯の増設を希望する。

(委員) 別所線電車については、住民生活もそうだが観光面でも大切なもので残すべきである。住民の別所線への理解が必要だが、券の共同購入には抵抗もある。バス路線については、バスの小型化の検討が必要である。他には、農作物の鳥獣害被害が目立っている。

(委員) 塩田の将来を考えたときに、動けるのは自治会連合会であり毎年地区自治会連合会長が協議会委員として入れるような体制を希望する。

(委員) 意見を言ってそれだけ協議会で検討しているが、「困りごと」について行政でも考えてもらいたい。一つの事について検討すべきである。

(委員) 地域交通については会社、行政、諸団体を交えての話し合いが必要で、高齢化率の高い地域での移動が課題である。他には、住民の健康づくりや武石地域のデマンド交通についても検討の必要がある。

(委員) 実態調査は必要である、歩く事が出来なくても車の運転は出来る人たちの今後を考えるべきである。今後は、今より地域が困ると思うので、15～20年先のことについて検討したいものである。

(副会長) 今日の会議は、考え方が明確化されてきてよかった、また、アンケート調査をもとに住民の声が聞けたらいいと思う。バス路線については、住民意見が吸いあがってこないが地域のためにすることが協議会の役割であり、将来のこととして電車やバスのことを考えるべきである。デマンド(戸口から戸口)が、よいことなのか検討を要し安い金額で移動が出来ればよい。近年「地域力」の低下が言われており、地域崩壊の危機が心配されている。他には、特産物や鳥獣害被害問題も重要であるが、セクハラの問題が塩田にもあって残念であり出前講座などで対応したい。

(会長) 電車、バスの利用促進協議会の設立について検討していきたい。今後の課題として農業後継者問題は重要であり、今後問題を絞って詰めていきたい。それにより意見書についても検討したい。

(3) 「困りごと」アンケート調査について

(副会長) 「困りごと」アンケート調査については、住民同志の助け合いが出来ないものか、現状の確認と状況の把握が狙いである。実態調査に向けて今後どのようにしたものか。

(委員) 負担金はどこへ使うのか。

(副会長) 「何かしてもらってただでは困る」という人のために、あらかじめ決められた金額を提示したほうが依頼しやすいと考えている。

(委員) 単価が時間なのか、回数なのか分からない。

(会長) 単価は回数としたいと思う。次回に検討したい。

(委員) 地域としては、アンケート調査をお願いしたい。そんなに数は多くないと思う。自治連との懇談会は、11月をお願いしたい。

4 懇談会

(1) 各地区自治会連合会、振興会正副会長懇談会(「困りごと」アンケート調査について意見交換)

(自治連) 高齢者への協力体制は重要で、困っている高齢者対策が必要である。

(振興会) 地域では、有害外来植物の駆除を実施している。民地へ入ったの駆除に苦慮しており、被害が急増している実態がある。

(協議会) 介護保険の対象から漏れた方々を対象に、「困りごと」アンケート調査を実施したい。

民生・児童委員会で断られたが必要と考えているので、自治会連合会へ調査をお願いしたいと考えている。調査結果に基づき必要な施策については、関係機関へ働きかけていきたい。

- (協議会) 特に体の不自由な方々を中心に、高齢者対策として必要なものであるので関係する団体の皆様から意見を聞きたい。
- (自治連) アンケート調査はいいと思うが、民生・児童委員会で断られたので、自治会でも難しく回収方法や聞き取り調査も難しい。
- (自治連) アンケート調査をやることはよいが、中塩田全体に図る必要がある。回収にあたり切手代があればできるが、聞き取り調査は厳しい。
- (自治連) 地域の実態を知ることは重要だが回収をどうするか、プライベートのことは書きづらいので郵送としてもらいたい。近隣で困っているという声はあると思うので、聞いてもらいたいと思う人もいると思う。
- (自治連) 配布や回収くらいはできるが、聞き取りは難しい。簡単なアンケートのほうがよい。
- (自治連) 配布はできるが回収は難しい。人の目に触れる状態での回収は難しい。
- (自治連) アンケート調査はよいと思うが回収方法が課題となる。助け合いの仕組みづくりが重要で、各自治会でつくるしかない。
- (自治連) アンケート調査はよいと思うが、個人情報の問題も出てくるので容易に回収は出来ないとと思う。
- (振興会) 正副会長に対して、今頃こんなアンケートをしなくてはいけないのか。データとしてもっと先に出すべきだ。
- (振興会) アンケート調査に協力してもらいたい。個人情報ネックになるので封筒を使用すればよい。
- (自治連) 別所温泉自治会連合会では、敬老会対象者 275 人に案内状を配布したが無理ではなかった。調査にあたっては、部分的に民生・児童委員に助けてもらえばよいのでぜひ協力いただきたい。
- (協議会長) 住んでいてよかったと思える安全・安心な地域づくりのために、アンケート調査を実施するなかで回収については、封筒による方向でいきたいと思う。
- (協議会) 介護保険利用者はそんなに多くなかった。社会福祉協議会で行なっている「御用聞きサービス」の利用者も少ない。75 歳以上で介護保険利用者以外の人を対象としたい。
- (振興会) 対象者の状況について行政として分かっていないのか。
- (自治連) 介護保険利用者の名簿はあるのか。
- (協議会長) 民生・児童委員は持っている。
- (協議会) 民生・児童委員は、介護保険利用者の名簿は持っていない。介護者慰労金の申請にあたって、名簿が来て初めて対象者が分かる実態である。
- (協議会) 75 歳以上で介護保険利用者は、対象からはずすこととなるが分からないことは、民生・児童委員に聞くことになるのか。
- (自治連) 自治会によっては、状況を把握しているところもある。
- (振興会) 75 歳以上の名簿は作成してあるが、介護保険利用者は不明である。
- (協議会) 75 歳以上を対象とする方向で行きたい。
- (協議会長) 対象を 75 歳以上に絞ってやりたい。
- (協議会) 地区の傾向を見ることもあるのか。
- (協議会) 聞き取り調査は難しいので、回収は封書でお願いしたい。
- (自治連) 75 歳以上に絞るやり方は難しい。
- (協議会) アンケート調査はやることとして、次の課題について検討してはどうか。
- (協議会) アンケート調査を持ち帰って検討してもらいたい。
- (自治連) 自治会連合会との懇談は、11 月に持ち越してもらいたい。
- (協議会長) 11 月に予定している自治会連合会との懇談会で決めていきたい。
- (協議会) アンケートの回収は、封書として自治会で回収してもらいたい。

- (振興会) 調査項目に介護保険利用区分を入れてはどうか。
- (協議会) 聞き取りを依頼された場合はどうするのか。
- (協議会長) 自治会での対応をお願いしたい。

(2) その他

- (地域交通委員会) 別所線電車存続について、「塩田地域公共交通利用促進協議会」の設立を考えたので意見をお聞かせいただきたい。
- (ため池活用委員会) ため池マップと池の看板を作成した。管理者に届けたのでため池に看板が設置される予定である。
- (振興会) よい季節なのでパノラマ展望台へ行ってもらいたい。
- (協議会) 地域交通については、自治会連合会や振興会としても関心を持ってもらいたい。

5 その他(当面に日程)

10月協議会	10月20日(木)	13:30	塩田公民館大ホール
11月協議会	11月21日(月)	13:30	塩田公民館大ホール
12月協議会	12月22日(木)	15:00	塩田公民館小ホール

6 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。